

「生涯学習の場の充実」についてのアンケート集計結果

県では、平成31年3月に「第3期滋賀県教育振興基本計画」を策定し、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに取り組んでいるところです。

本計画において県が目指す姿への到達状況について、成果や達成状況を把握するための数値目標を設定し、毎年点検・評価を行い、施策の展開に反映していきます。そこで「生涯学習の場の充実」に関する県民の方々の意識調査を目的として、アンケート調査を実施しました。

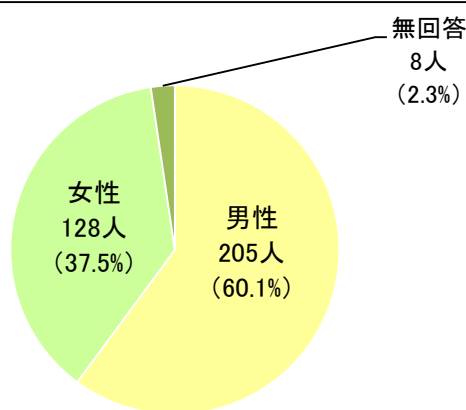
- ◆調査時期: 令和2年12月
 - ◆対象者: 県政モニター 399人
 - ◆回答数: 341人(回答率 85.5%)
 - ◆担当課: 教育委員会事務局 生涯学習課
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

◆性別

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|-------|
| 男性 | 205 | 60.1 |
| 女性 | 128 | 37.5 |
| 無回答 | 8 | 2.3 |
| 合計 | 341 | 100.0 |

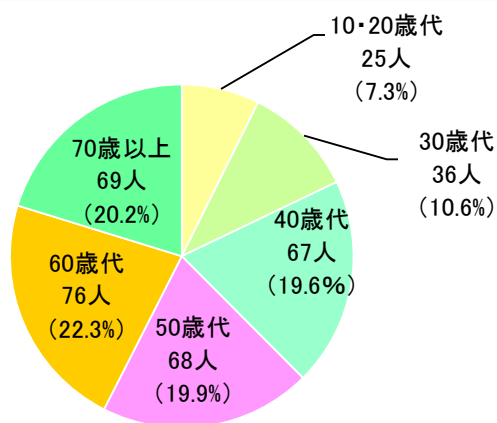
性別割合



◆年代

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------|-------|-------|
| 10・20歳代 | 25 | 7.3 |
| 30歳代 | 36 | 10.6 |
| 40歳代 | 67 | 19.6 |
| 50歳代 | 68 | 19.9 |
| 60歳代 | 76 | 22.3 |
| 70歳以上 | 69 | 20.2 |
| 合計 | 341 | 100.0 |

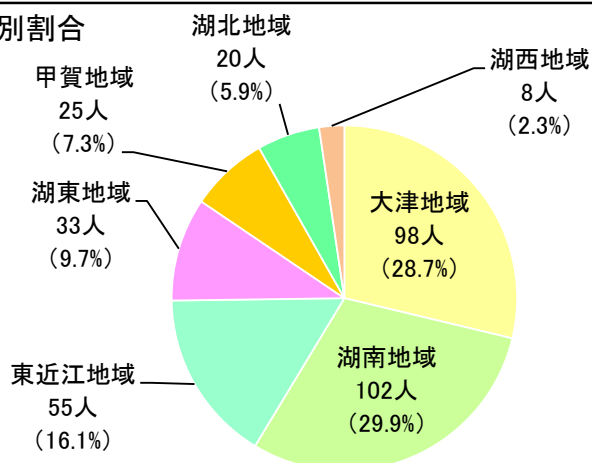
年代別割合



◆地域

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 大津地域 | 98 | 28.7 |
| 湖南地域 | 102 | 29.9 |
| 東近江地域 | 55 | 16.1 |
| 湖東地域 | 33 | 9.7 |
| 甲賀地域 | 25 | 7.3 |
| 湖北地域 | 20 | 5.9 |
| 湖西地域 | 8 | 2.3 |
| 合計 | 341 | 100.0 |

地域別割合

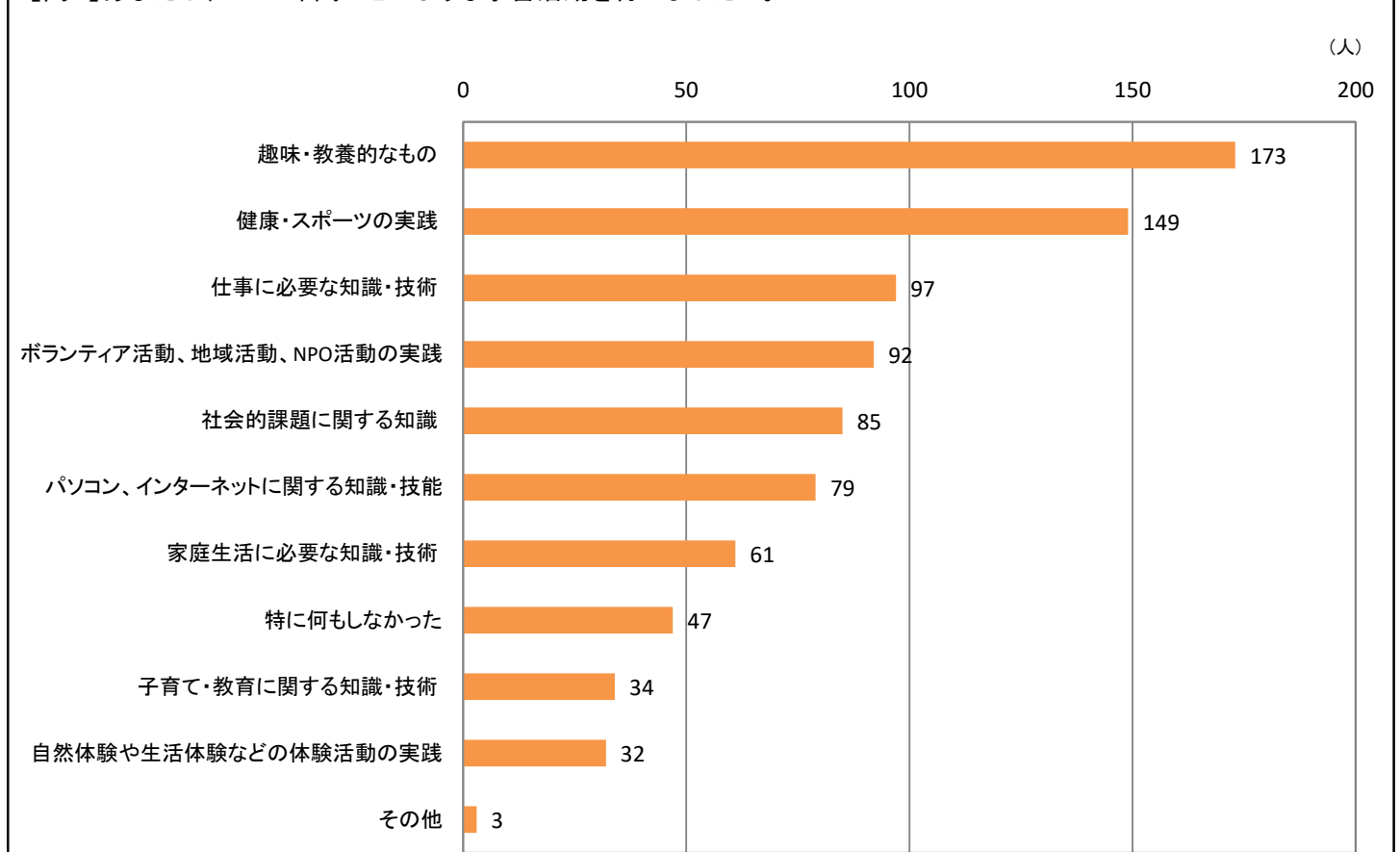


【問1】あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。

(「特に何もしなかった」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=341)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------------------------|-------|-------|
| 趣味・教養的なもの(音楽・美術・園芸・囲碁・将棋・写真・歴史・文化など) | 173 | 50.7 |
| 健康・スポーツの実践(健康法、ジョギング、水泳、体操など) | 149 | 43.7 |
| 仕事に必要な知識・技術(仕事や就職に関する資格取得講座や知識の習得など) | 97 | 28.4 |
| ボランティア活動、地域活動、NPO活動の実践 | 92 | 27.0 |
| 社会的課題に関する知識(環境、福祉・介護、人権、男女共同参画、少子高齢化、国際化、SDGsなど) | 85 | 24.9 |
| パソコン、インターネットに関する知識・技能 | 79 | 23.2 |
| 家庭生活に必要な知識・技術(料理、和・洋裁、日曜大工など) | 61 | 17.9 |
| 特に何もしなかった | 47 | 13.8 |
| 子育て・教育に関する知識・技術(家庭教育、幼児教育、青少年教育、教育問題など) | 34 | 10.0 |
| 自然体験や生活体験などの体験活動の実践 | 32 | 9.4 |
| その他 | 3 | 0.9 |

【問1】あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。

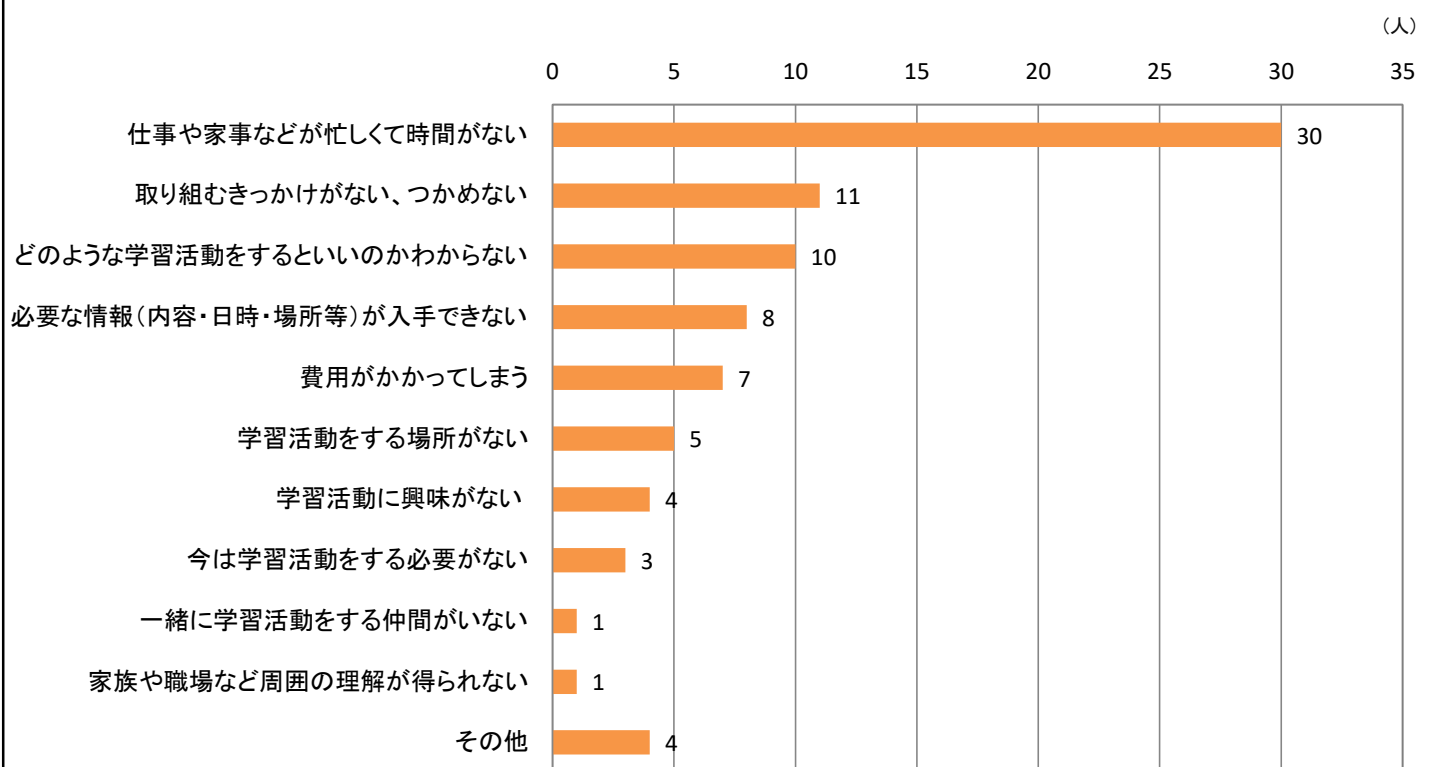


【問2】問1で、「特に何もしなかった」を選択された方にお尋ねします。あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。

(回答チェックはいくつでも。 n=47)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------|-------|-------|
| 仕事や家事などが忙しくて時間がない | 30 | 63.8 |
| 取り組むきっかけがない、つかめない | 11 | 23.4 |
| どのような学習活動をするといいのかわからない | 10 | 21.3 |
| 必要な情報(内容・日時・場所等)が入手できない | 8 | 17.0 |
| 費用がかかってしまう | 7 | 14.9 |
| 学習活動をする場所がない | 5 | 10.6 |
| 学習活動に興味がない | 4 | 8.5 |
| 今は学習活動をする必要がない | 3 | 6.4 |
| 一緒に学習活動をする仲間がいない | 1 | 2.1 |
| 家族や職場など周囲の理解が得られない | 1 | 2.1 |
| その他 | 4 | 8.5 |

【問2】問1で、「特に何もしなかった」を選択された方にお尋ねします。あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。

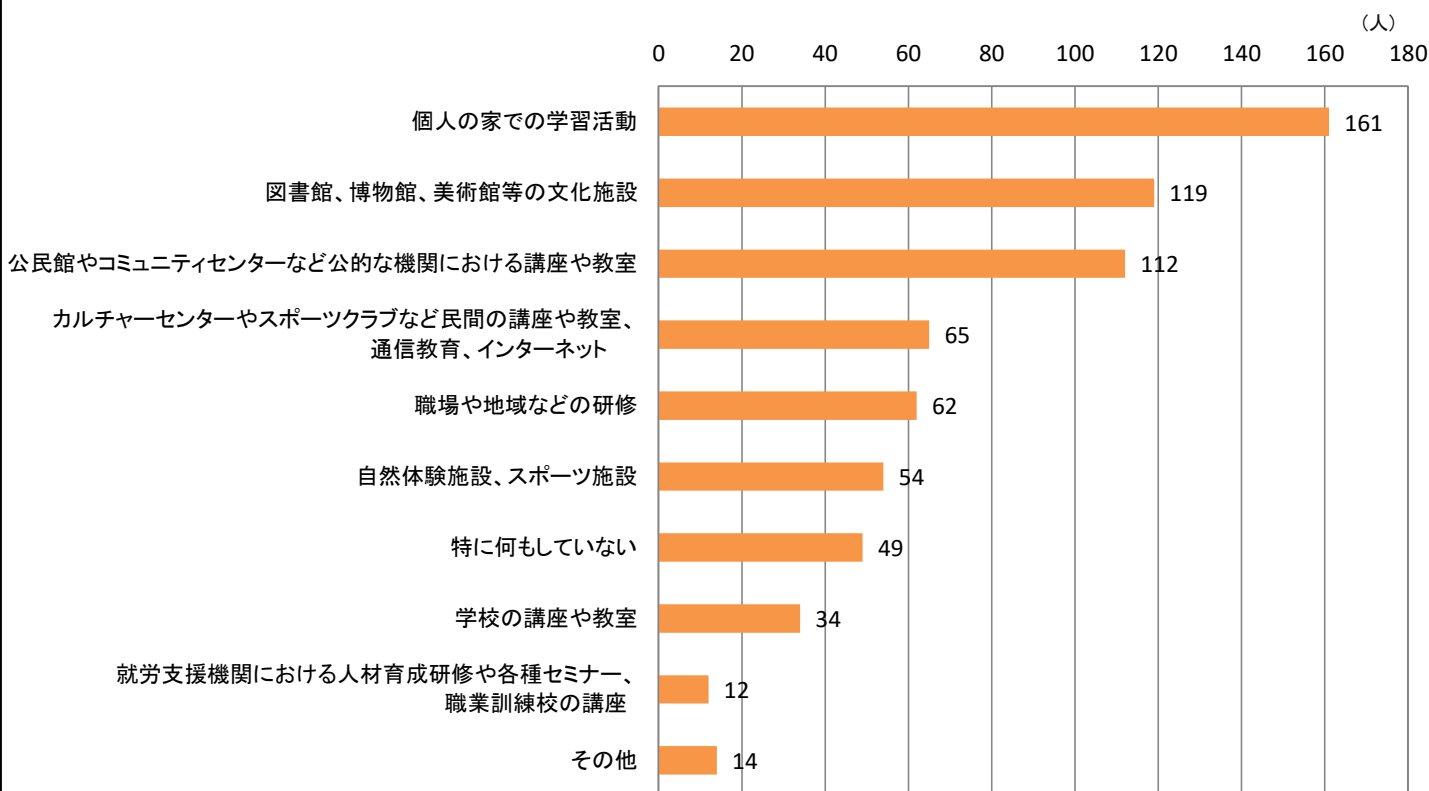


【問3】あなたは、この1年間にどのような施設や場所で学習活動を行いましたか。

(「特に何もしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------------------------------|-------|-------|
| 個人の家での学習活動(自宅を含む)※読書など | 161 | 47.2 |
| 図書館、博物館、美術館等の文化施設 | 119 | 34.9 |
| 公民館やコミュニティセンターなど公的な機関における講座や教室 | 112 | 32.8 |
| カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育、インターネット | 65 | 19.1 |
| 職場や地域などの研修 | 62 | 18.2 |
| 自然体験施設(海、山、川などの自然の中も含む)、スポーツ施設(公園を含む) | 54 | 15.8 |
| 特に何もしていない | 49 | 14.4 |
| 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の講座や教室 | 34 | 10.0 |
| 就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校の講座 | 12 | 3.5 |
| その他 | 14 | 4.1 |

【問3】あなたは、この1年間にどのような施設や場所で学習活動を行いましたか。

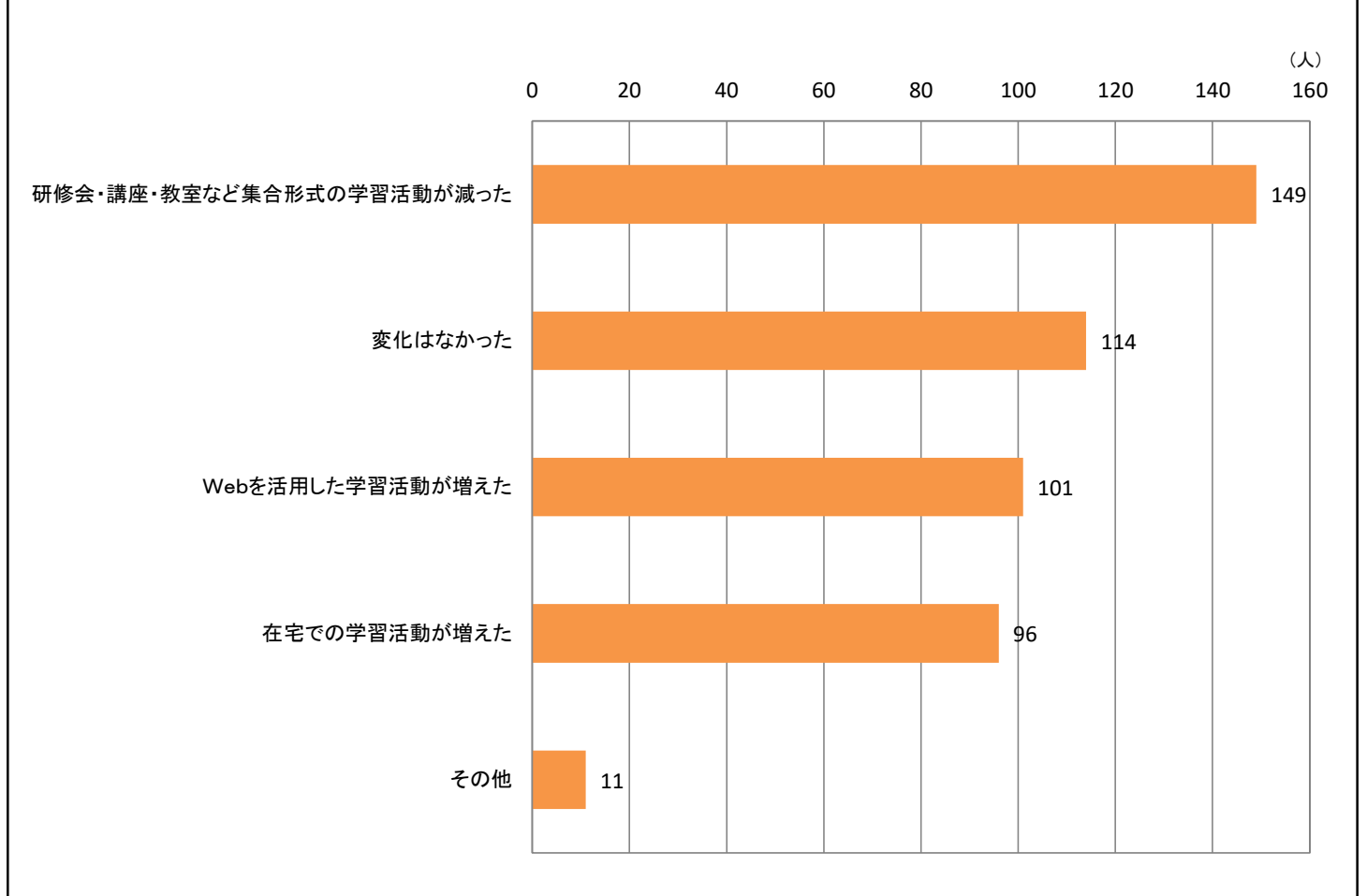


【問4】新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの学習活動に変化はありましたか。

(「回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------|-------|-------|
| 研修会・講座・教室など集合形式の学習活動が減った | 149 | 43.7 |
| 変化はなかった | 114 | 33.4 |
| Webを活用した学習活動が増えた | 101 | 29.6 |
| 在宅での学習活動が増えた | 96 | 28.2 |
| その他 | 11 | 3.2 |

【問4】新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの学習活動に変化はありましたか。

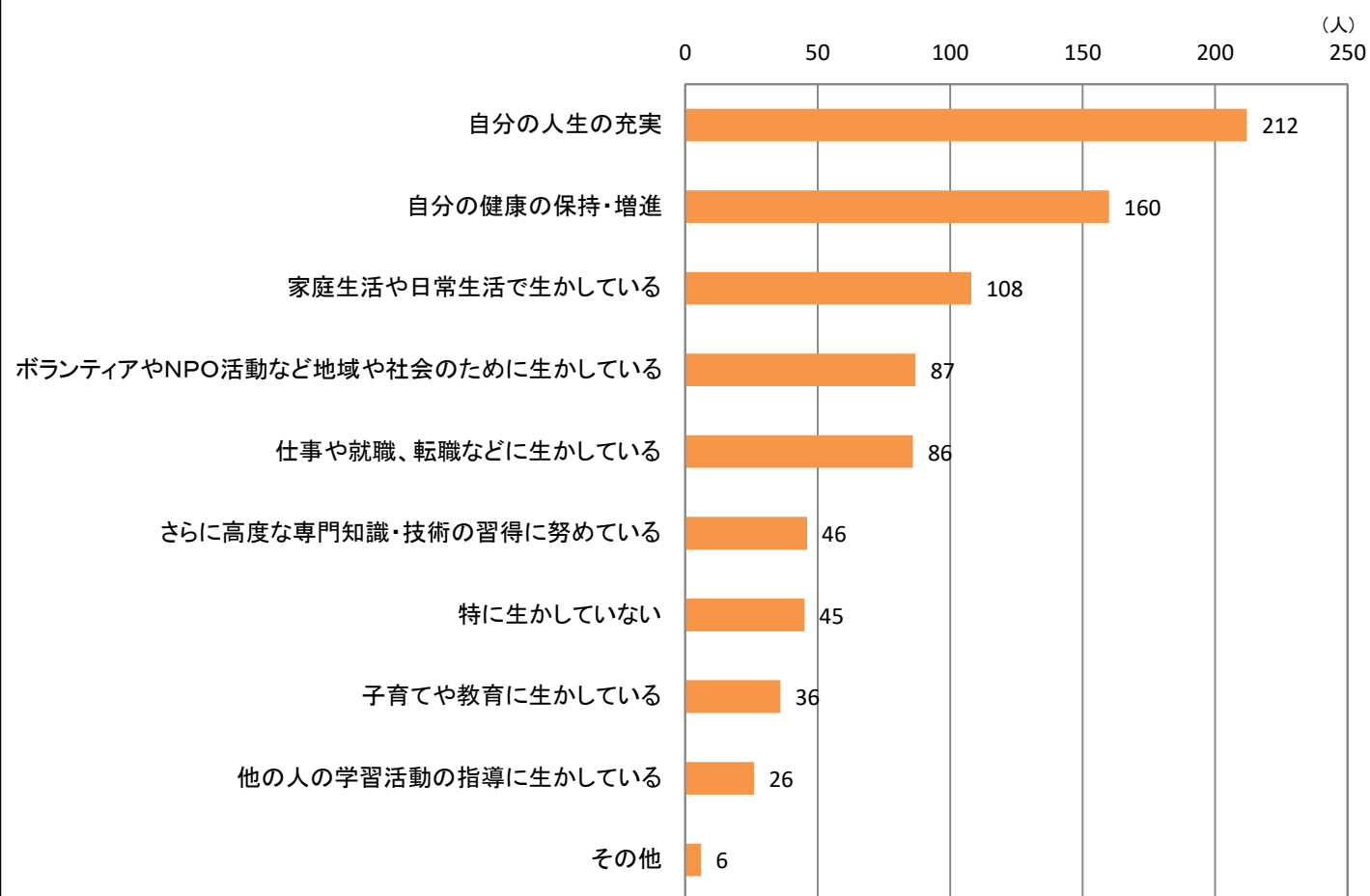


【問5】あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験をこの1年間どう生かしていますか。

(「特に生かしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------------|-------|-------|
| 自分の人生の充実 | 212 | 62.2 |
| 自分の健康の保持・増進 | 160 | 46.9 |
| 家庭生活や日常生活で生かしている | 108 | 31.7 |
| ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている | 87 | 25.5 |
| 仕事や就職、転職などに生かしている | 86 | 25.2 |
| さらに高度な専門知識・技術の習得に努めている | 46 | 13.5 |
| 特に生かしていない | 45 | 13.2 |
| 子育てや教育に生かしている | 36 | 10.6 |
| 他の人の学習活動の指導に生かしている | 26 | 7.6 |
| その他 | 6 | 1.8 |

【問5】あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験をこの1年間どう生かしていますか。

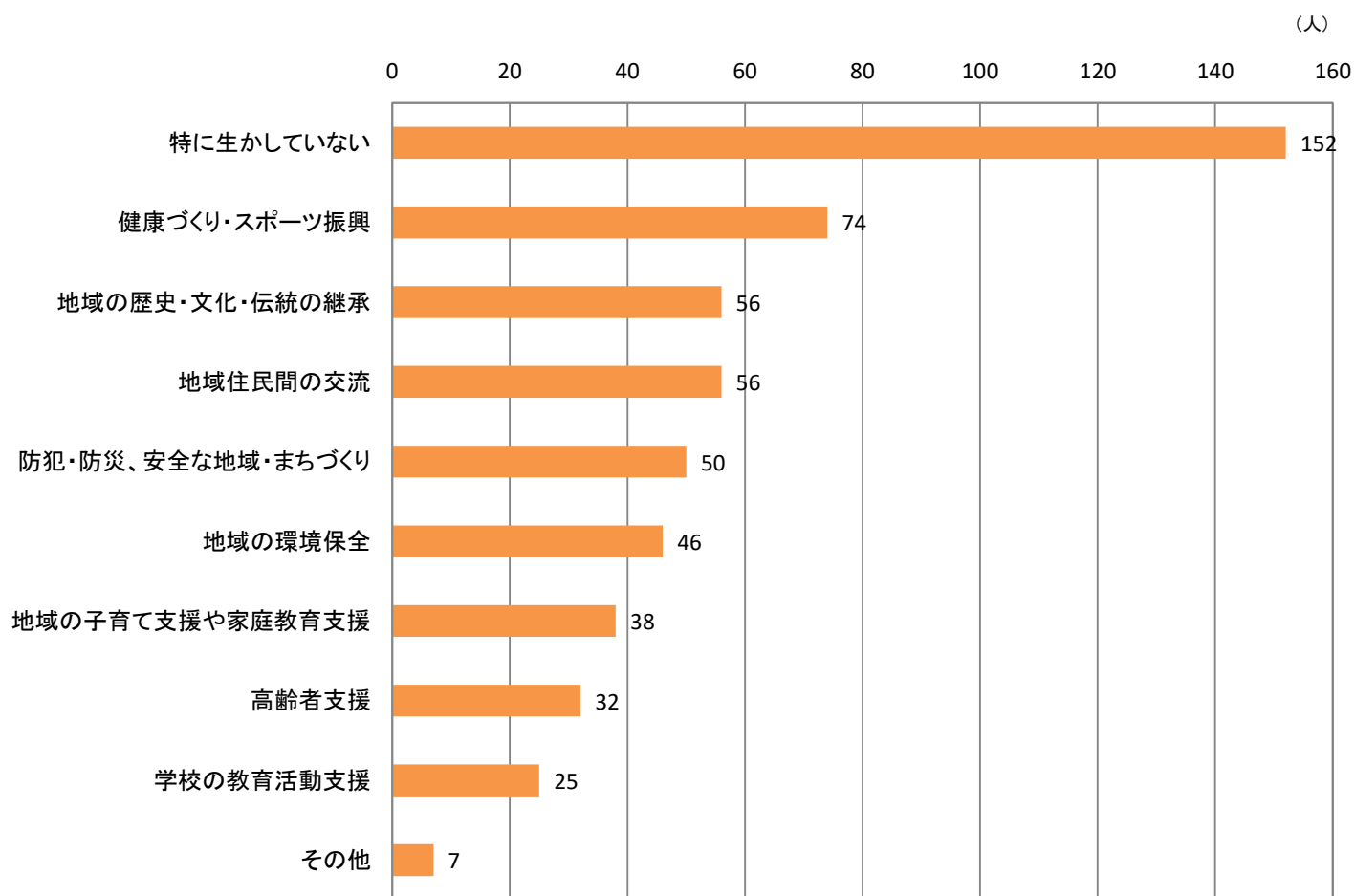


【問6】あなたは、学びの成果を地域づくりにどのように生かしていますか。

(「特に生かしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------|-------|-------|
| 特に生かしていない | 152 | 44.6 |
| 健康づくり・スポーツ振興 | 74 | 21.7 |
| 地域の歴史・文化・伝統の継承 | 56 | 16.4 |
| 地域住民間の交流 | 56 | 16.4 |
| 防犯・防災、安全な地域・まちづくり | 50 | 14.7 |
| 地域の環境保全 | 46 | 13.5 |
| 地域の子育て支援や家庭教育支援 | 38 | 11.1 |
| 高齢者支援 | 32 | 9.4 |
| 学校の教育活動支援 | 25 | 7.3 |
| その他 | 7 | 2.1 |

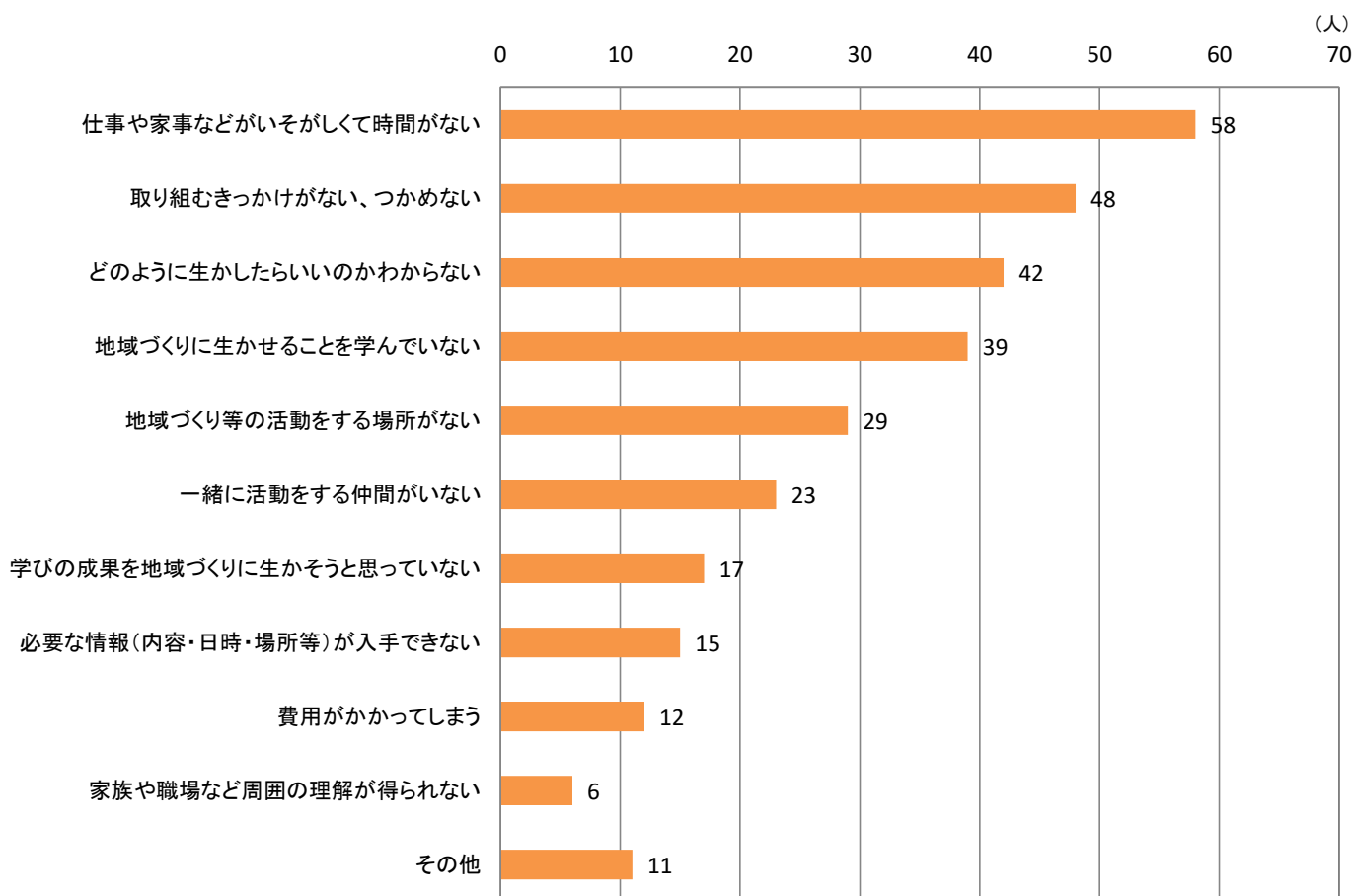
【問6】 あなたは、学びの成果を地域づくりにどのように生かしていますか。



【問7】 問6で、「特に生かしていない」を選択された方にお尋ねします。
 あなたが、学びの成果を地域づくりに生かしていない理由は何ですか。（回答チェックはいくつでも。n=152）

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------|-------|-------|
| 仕事や家事などがいそがしくて時間がない | 58 | 38.2 |
| 取り組むきっかけがない、つかめない | 48 | 31.6 |
| どのように生かしたらいいのかわからない | 42 | 27.6 |
| 地域づくりに生かせることを学んでいない | 39 | 25.7 |
| 地域づくり等の活動をする場所がない | 29 | 19.1 |
| 一緒に活動をする仲間がいない | 23 | 15.1 |
| 学びの成果を地域づくりに生かそうと思っていない | 17 | 11.2 |
| 必要な情報(内容・日時・場所等)が入手できない | 15 | 9.9 |
| 費用がかかってしまう | 12 | 7.9 |
| 家族や職場など周囲の理解が得られない | 6 | 3.9 |
| その他 | 11 | 7.2 |

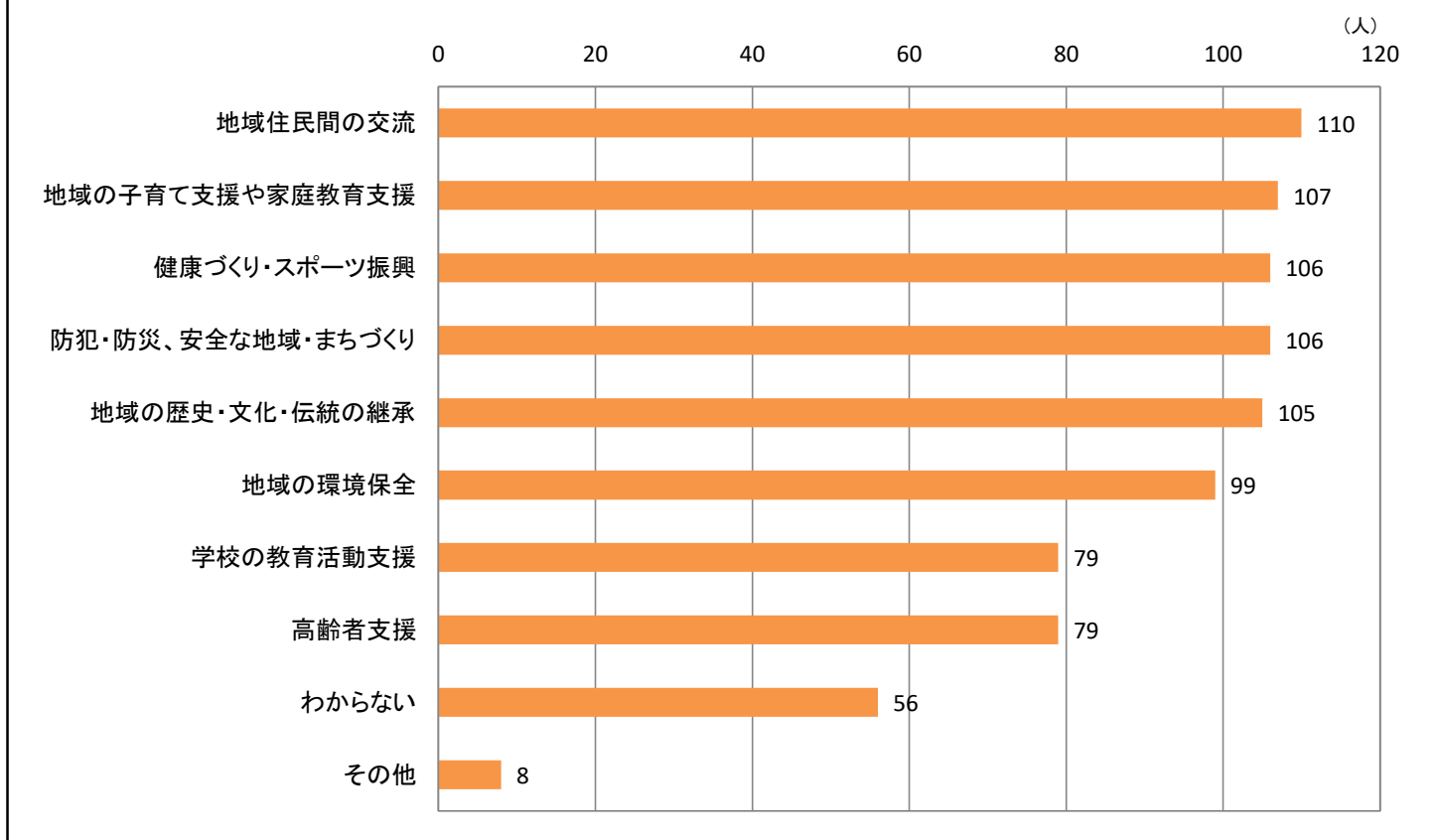
【問7】問6で、「特に生かしていない」を選択された方にお尋ねします。あなたが、学びの成果を地域づくりに生かしていない理由は何ですか。



【問8】あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思いますか。
 (「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------|-------|-------|
| 地域住民間の交流 | 110 | 32.3 |
| 地域の子育て支援や家庭教育支援 | 107 | 31.4 |
| 健康づくり・スポーツ振興 | 106 | 31.1 |
| 防犯・防災、安全な地域・まちづくり | 106 | 31.1 |
| 地域の歴史・文化・伝統の継承 | 105 | 30.8 |
| 地域の環境保全 | 99 | 29.0 |
| 学校の教育活動支援 | 79 | 23.2 |
| 高齢者支援 | 79 | 23.2 |
| わからない | 56 | 16.4 |
| その他 | 8 | 2.3 |

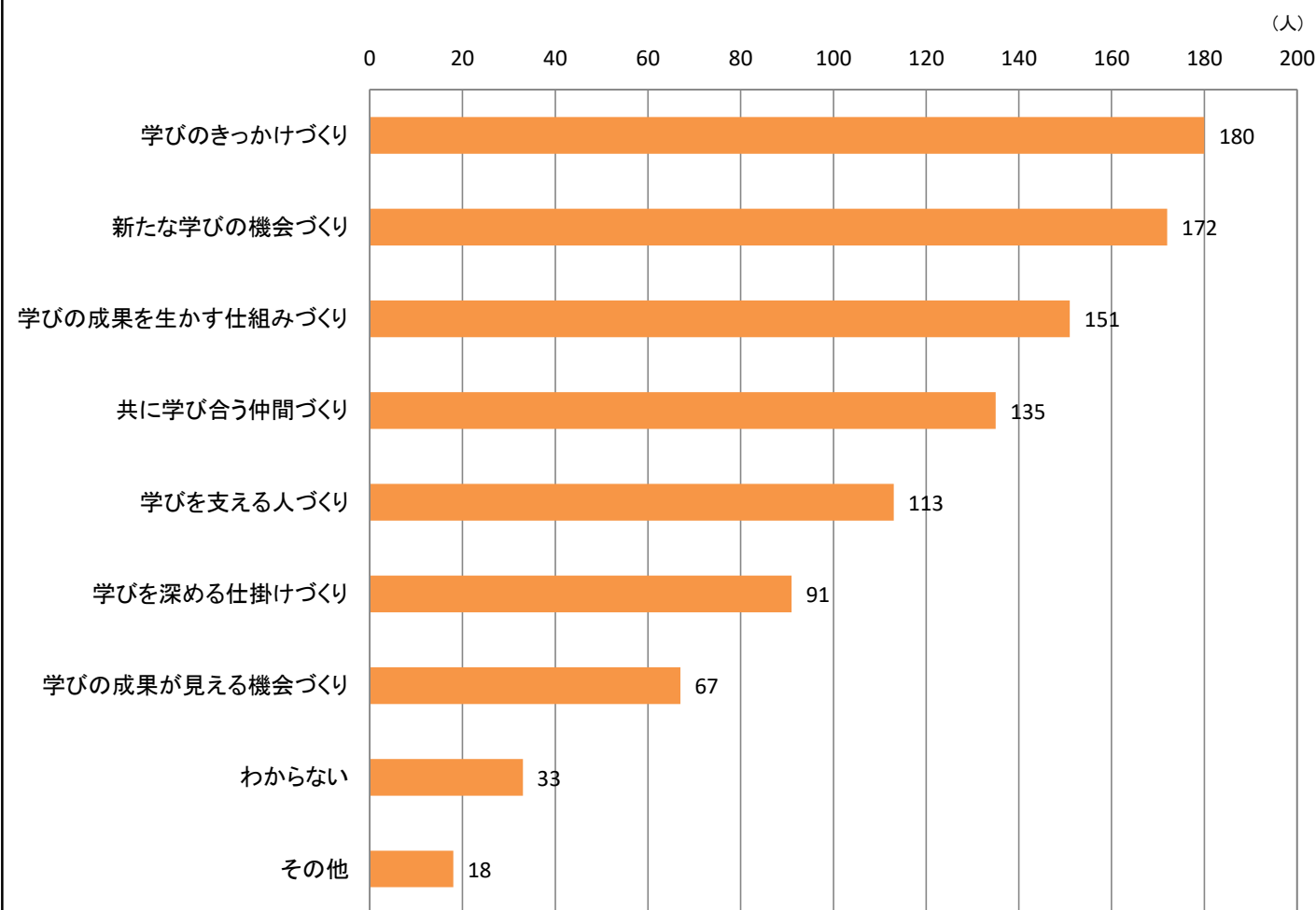
【問8】あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思いますか。



【問9】あなたは、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに向けた取組をさらに進めていくために、県が今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。
 (「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------------------------------|-------|-------|
| 学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供 等) | 180 | 52.8 |
| 新たな学びの機会づくり(学習機会の提供、企業や行政等の新たな学習機会 等) | 172 | 50.4 |
| 学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動、社会参画の機会 等) | 151 | 44.3 |
| 共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供、環境の整備 等) | 135 | 39.6 |
| 学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成 等) | 113 | 33.1 |
| 学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実 等) | 91 | 26.7 |
| 学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品・展示展等の充実 等) | 67 | 19.6 |
| わからない | 33 | 9.7 |
| その他 | 18 | 5.3 |

【問9】あなたは、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに向けた取組をさらに進めていくために、県が今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。



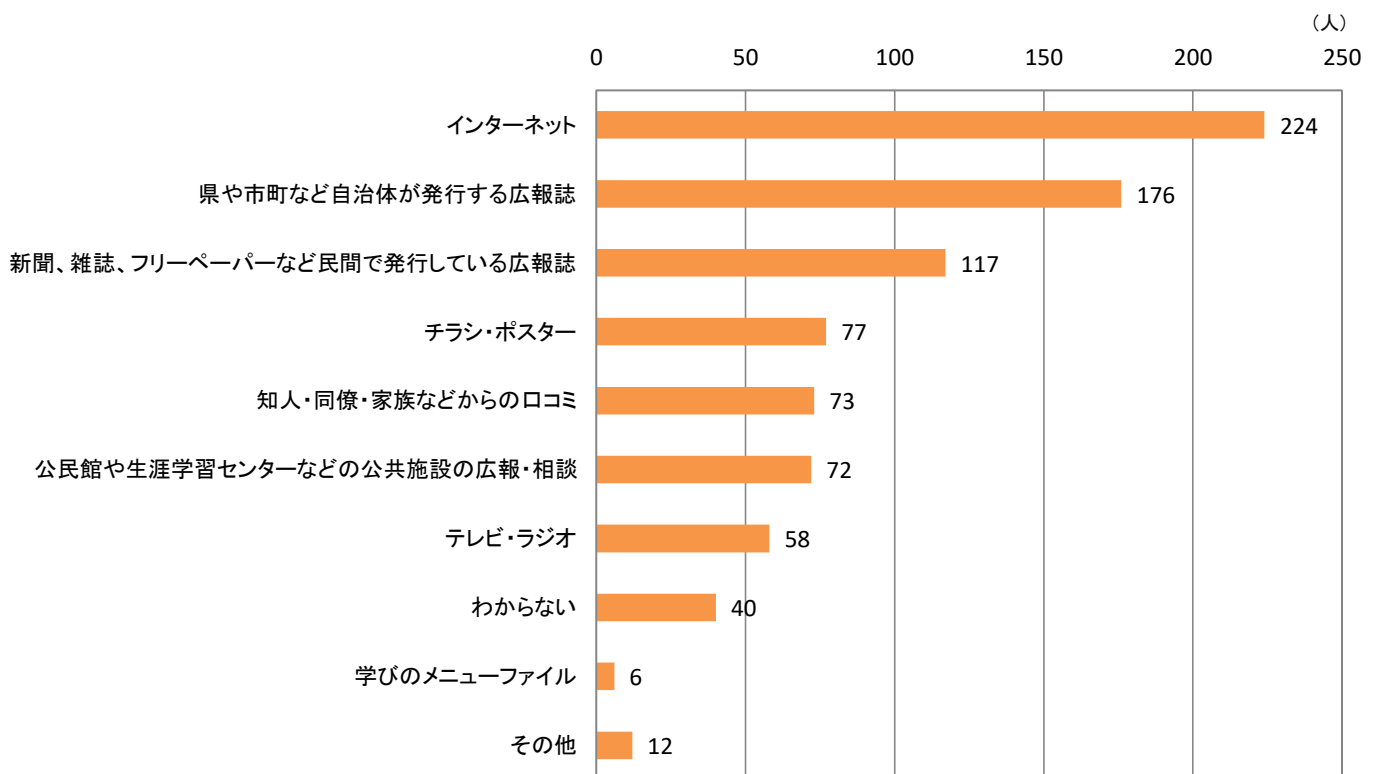
【問10】あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。

(「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------------|-------|-------|
| インターネット | 224 | 65.7 |
| 県や市町など自治体が発行する広報誌 | 176 | 51.6 |
| 新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌 | 117 | 34.3 |
| チラシ・ポスター | 77 | 22.6 |
| 知人・同僚・家族などからの口コミ | 73 | 21.4 |
| 公民館や生涯学習センターなどの公共施設の広報・相談 | 72 | 21.1 |
| テレビ・ラジオ | 58 | 17.0 |
| わからない | 40 | 11.7 |
| 学びのメニューファイル※ | 6 | 1.8 |
| その他 | 12 | 3.5 |

※「学びのメニューファイル」は、滋賀県教育委員会事務局生涯学習課が、年に2回県内の講座情報を一覧にまとめ、公民館や博物館等の公共機関に配布している冊子です。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、講座情報が流動的であることから発行していませんが、過去に利用したことがあれば選択していただきました。

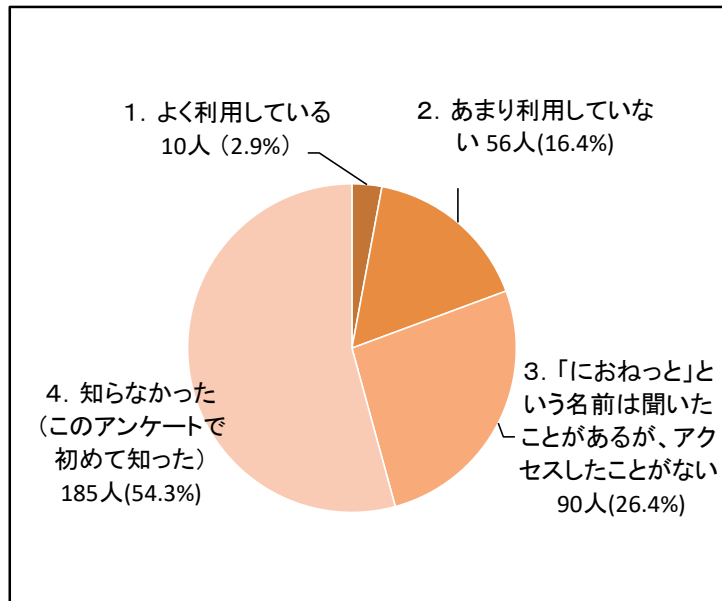
【問10】あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。



【問11】滋賀県学習情報提供システム「におねっと」を利用していますか。（回答チェックは1つだけ。 n=341）

※滋賀県学習情報提供システム「におねっと」では、県民の主体的な生涯学習の取組を支援するため、県内で開催される講座や出前講座などの学習情報を提供するとともに、DVD等の県が保有する視聴覚教材の検索や貸出予約、学習相談などの受付を行っています。 <https://www.nionet.jp> または、「におねっと」で検索

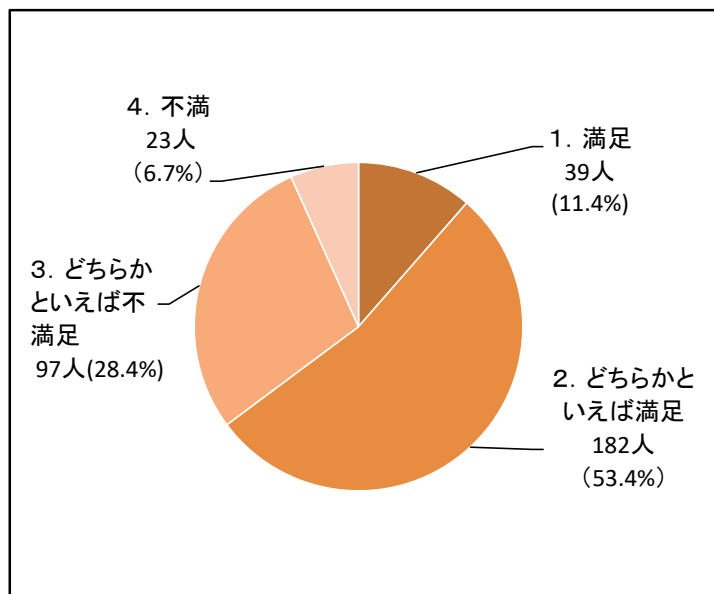
| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------------------------|-------|-------|
| 1. よく利用している | 10 | 2.9 |
| 2. あまり利用していない | 56 | 16.4 |
| 3. 「におねっと」という名前は聞いたことがあるが、アクセスしたことがない | 90 | 26.4 |
| 4. 知らなかった(このアンケートで初めて知った) | 185 | 54.3 |
| 合 計 | 341 | 100.0 |



【問12】滋賀県学習情報提供システム「におねっと」のデザイン、使いやすさについて御感想をお聞かせください。問11で「「におねっと」という名前は聞いたことがあるが、アクセスしたことがない」または「知らなかった」を選択した方も、「におねっと」にアクセスしていただき、お答えください。

(回答チェックは1つだけ。n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|-------|
| 1. 満足 | 39 | 11.4 |
| 2. どちらかといえば満足 | 182 | 53.4 |
| 3. どちらかといえば不満足 | 97 | 28.4 |
| 4. 不満 | 23 | 6.7 |
| 合 計 | 341 | 100.0 |



【問13】問12の回答を選択した理由をお聞かせください。(抜粋)

| |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 満足 |
| ・サイト内検索ができて、情報を集めやすいから。 |
| ・検索しやすく、欲しい情報が得られる。 |
| ・自分の学びたい分野についての情報を地域ごとに調べることができ、アクセスしやすい教室について調べることができる点が良いと思います。 |
| ・情報が整理されていて豊富である。 |
| 2. どちらかといえば満足 |
| ・「講座や教室で学びたい」などジャンル別に分けてあるので、短時間で探せる。 |
| ・デザインがすっきりしていて見たい情報が探しやすい。 |
| ・わかりやすく整理されていて、必要な内容が探しやすい。できた頃よりずいぶん見やすくなっている。 |
| ・画面の文字が大きくなるので読みやすいと感じた。年齢や性別で学びたい内容が検索できると思った。《検索》のボタンはもっと大きいほうが良い。 |
| ・学びについて、なにかしらの行動を起こそうと思った時に、参考になることが見つけやすい。 |
| ・近所の情報は入手しやすいのですが、県内の情報は得にくいので、何かしたいと思った時にのぞいています。ページそのものが見にくいというか堅苦しいのが少し難ですが、ありがたいです。 |
| ・検索を地域ではなく市ごとにして、複数選択できるようになるとよい。詳細ページで会場の場所の地図がわかるといい。 |
| ・子どもから高齢者まで、人生を心豊かに過ごすための情報が掲載されており、利用すべきサイトであると思うため。 |
| ・素人意見ですが、分かりやすく、良かったです。 |
| ・日常生活に役立ちそうな情報がある。 |
| ・様々な項目に分かれていて、興味のある分野にアクセスしやすかったから。写真も沢山使われていて見易かった。 |
| 3. どちらかといえば不満 |
| ・あまり利用しやすいとは思えない。自分の求める情報が探し難い。 |
| ・スマホ閲覧対応になっていないので、スマホから見にくい。 |
| ・ボタンの部分が10個以上並んでいるが、文字が多く、煩雑な印象。トップページにすべてを詰め込みすぎているので、もう少しデザインの手軽さを利用したほうが良い。 |
| ・何をしたらいいのか、わからない。もっとシンプル(画面で全てを表記しない)にした方がクリックしやすい。項目(学習種類)毎に分けて、目次画面にしてクリックする箇所をわかりやすく。クリックすると、項目の内容が出てくる方が興味がわく。この画面では、漫然と見てしまい、何を探せばいいのか、どこにあるのか統一されていないので解りにくい。 |
| ・行政っぽい。堅苦しい。60歳以上とか・・・これまでに生涯学習をされているような意識が高い人向けのものしかなさそう。 |
| ・内容が一目で見てわからない。魅力がない。アクセスしたことがある人やわかっている人がアクセスするためのサイトに作られていてふらりと見た人にはのっぺりした白い壁に見えます。 |
| ・不満とは言えないかもしれませんが、年齢が高くなるとアクセスすることが簡単ではなく、する気にならない。 |
| ・文字数が減らしたほうが良い。 |
| 4. 不満 |
| ・レスポンスデザインになっていないためスマートフォンから見づらい。 |
| ・ごちゃごちゃしていてどこを見れば何が分かるのかがよく分からない。一部の情報はpdfファイルを開く必要があって不便。 |
| ・スマホ対応ページがなく、見辛い。 |
| ・個別の羅列では全体の構成体系が見えない。 |

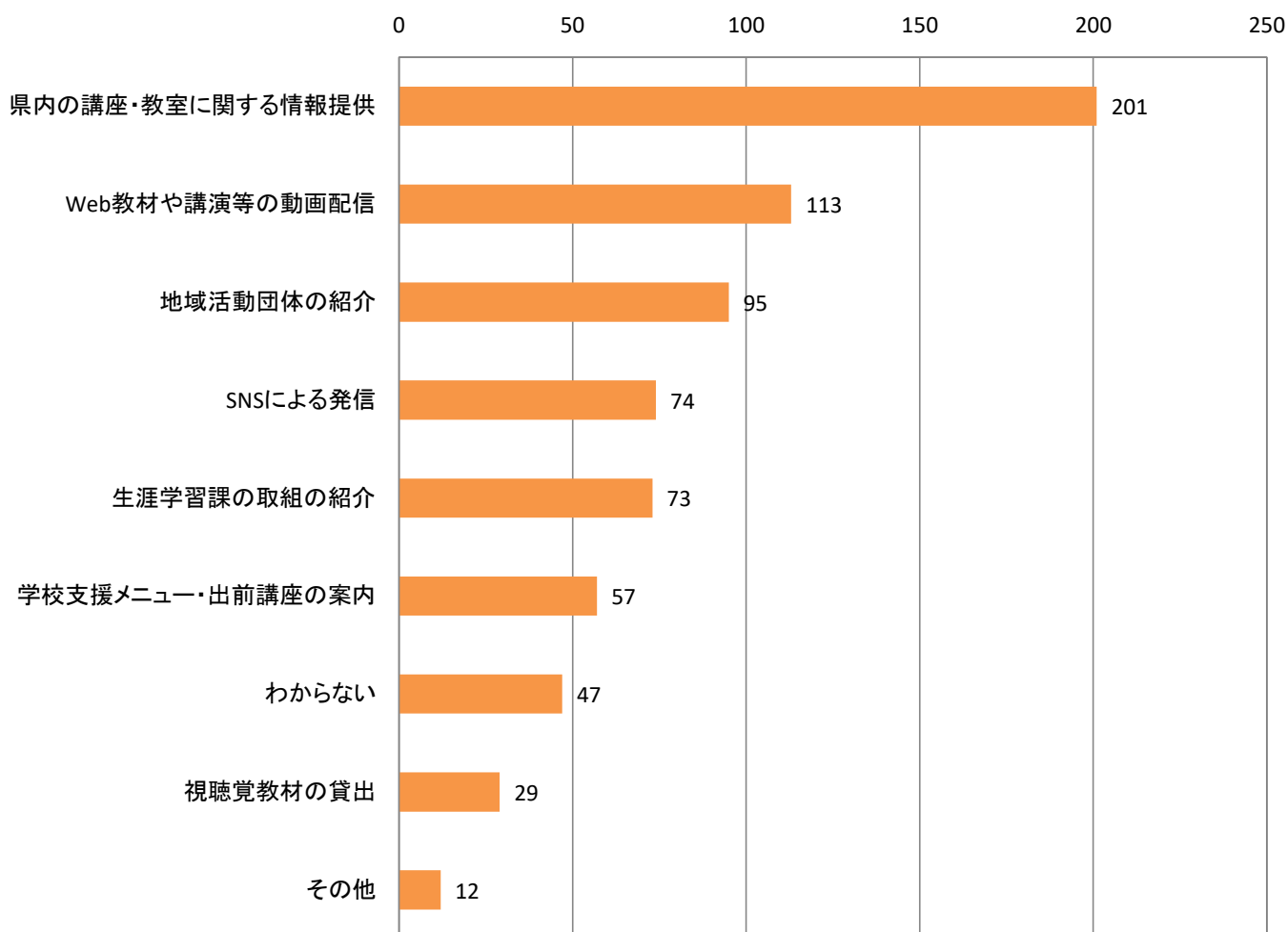
【問14】「におねっと」で、どのようなサービスを充実してほしいですか。

(「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=341)

| 項 目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------|-------|-------|
| 県内の講座・教室に関する情報提供 | 201 | 58.9 |
| Web教材や講演等の動画配信 | 113 | 33.1 |
| 地域活動団体の紹介 | 95 | 27.9 |
| SNSによる発信 | 74 | 21.7 |
| 生涯学習課の取組の紹介 | 73 | 21.4 |
| 学校支援メニュー・出前講座の案内 | 57 | 16.7 |
| わからない | 47 | 13.8 |
| 視聴覚教材の貸出 | 29 | 8.5 |
| その他 | 12 | 3.5 |

【問14】「におねっと」で、どのようなサービスを充実してほしいですか。

(人)



【問15】生涯学習の推進について御意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・コロナ禍でなかなか集まっての講座がないのが残念。学びたい人がすぐに学びの機会へアクセス出来たり、交流できたり出来たら嬉しい。</p> |
| <p>・すべての県民に生涯生きがいを持って暮らしてもらうために、今、問題になっているひきこもりの方へをも含めた支援が必要と感じます。心が元気になれば自ずと目は外に向きます。心が元気になれば生きがいも見つけられるような気がします。そのような方にも生涯学習が良い機会になるといいのにと思います。</p> |
| <p>・学習が一方通行にならず、学んだことを生かして還元できるようなしくみがあれば、よりよくなると思います。また学びを通じての仲間づくりなどを希望している人は多いと思います。講座などで人気のあるものは、複数回開催するとか、たくさんの方が学べるようにしてほしいです。</p> |
| <p>・県下市町のコミュニティースクール実践についての財政的・マンパワー・広報等の支援をして欲しい。市町で学区によっては学区民会議の役員の努力が困難な場合もある。市町の担当課が「生涯学習課」と「学校教育課」での協働の活動であるのが一因だと思う。</p> |
| <p>・広範囲、趣味から一般知識まで広くカバーして欲しいと考えます。教育＝地域貢献ではなく、自己実現の一環として捉えてほしいと考えます。</p> |
| <p>・高齢になると身体が不自由になり車の運転ができなくなるので生涯学習講座を辞めて行く人が多い。高齢になっても継続できるように支援して欲しい。</p> |
| <p>・滋賀県の恵まれた自然と環境、また奥深い歴史と文化等々、今住んで居る素晴らしい滋賀、将来住んでいきたい滋賀をもっと関心を持ってもらうための生涯学習を考えては？</p> |
| <p>・滋賀県学習情報提供システム「におねっと」が、障がい者にも参加できるものが数多く検索に引っかかると分かりやすいです。</p> |
| <p>・生涯学習の拠点は各市町の図書館だと思うので、図書館は積極的に情報発信して欲しいし、図書館の中に学習出来るスペースを設けて欲しい。</p> |
| <p>・生涯学習を楽しみにしている方が一定数おられるので、どこでもいつでもできるよう、動画での配信やネットでの利用もできるようになるとさらに受講者も増え、充実するのではと思います。</p> |
| <p>・託児付きで小さいお子さんを持つママでも参加しやすい講座が増えるといいなと思います。</p> |
| <p>・長く学んでいきたいという気持ちはあるがコロナ禍の影響でなるべくオンラインで学習する場が欲しいと思う。</p> |
| <p>・福祉、介護の講座が少ない。情報が少ない。高齢者も福祉、介護を知って介護が必要な高齢者を、地域で援護しあえるようになるとういと願っています。</p> |